



# 小袖の裏事情

The Unknown Side of Kosode



2022

3.3 [木]・5.23 [月]

11:00-18:00 入場無料 Admission free

火・水曜日 休館\* Closed: Tuesday-Wednesday

\*開館日についての最新情報は千總公式サイトをご確認ください

千總ギャラリー

CHISO GALLERY

gallery1

# 裏小 褻袖 情の

## The Unknown Side of Kosode

裏：人の目にふれない面。衣服の内がわ。物の内がわになる方。内部。奥。  
事情：物事がある状態に至るまでの理由や状態。また、その結果。

とりどりの色柄が魅力的な小袖。裏側にも柄がほどこされているものがあることをご存知でしょうか？

江戸時代中期以降、小袖全体にあらわされていた模様が段々と少なくなって裾の方に下がってゆき、さらには裏に移行します。この展覧会では、普段はお見せする機会の少ない裏側にほどこされた模様に注目して、柄の配置が移り変わる流れを千總所蔵の小袖からご紹介いたします。

女性たちの装いを彩ってきた小袖、その裏側を覗いてみましょう。

The surface of *kosode* (kimono) is decorated with attractive colors and patterns. However, does anyone know that there are *kosode* with patterns on the reverse side as well?

Since the middle of the Edo period, the patterns that used to cover the entire *kosode* have gradually decreased and moved down to the hem, and then to the back.

This exhibition focuses on the patterns on the reverse side, which are rarely shown, and also introduces such change of the pattern and its applied position within the Chiso's private collection of *kosode*. Let's explore the behind the scenes of *kosode*, which certainly had colored the outfits of women at that time.



白繪子地寄古裂島原樓文様間着



白繪子地近江八景文様打掛



紅縮緬地薬玉文様振袖

## 千總本店 2F 千總ギャラリー CHISO GALLERY

文化の発信地である京都で460余年続いてきた千總。  
工芸とアート、伝統と創造、過去・現在・未来などが交差するこの場で、  
新たな美との出会いをご提供します。

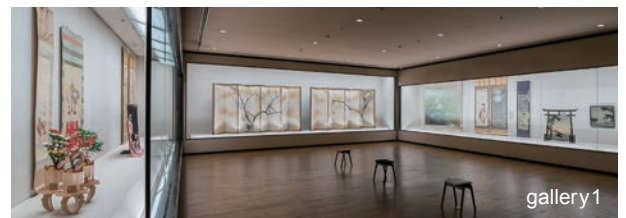
### - gallery1

小袖、屏風などの所蔵品を展覧会のテーマごとにご覧いただけます。

### - gallery2

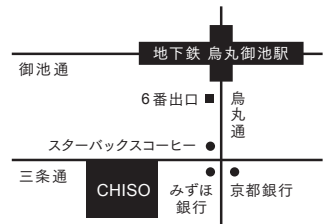
現代のアーティストの作品を千總のキュレーションによって展示します。

千總ギャラリーの最新情報は右記のQRコードより  
千總公式サイトにてご覧ください



京都市営地下鉄「烏丸御池」駅  
6番出口より徒歩約3分  
阪急電鉄「烏丸」駅 22番出口より  
徒歩7分

●車椅子でご来館の方へ  
エレベーターでのご案内が可能です。  
ご利用の方は、店内係員までお申し  
付けくださいませ。



TEL 075-253-1555 FAX 075-253-1700

604-8166 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町80

80Mikura-cho Sanjo Karasuma Nishiiru Nakagyo-ku Kyoto-shi 604-8166, Japan